



学校
だより

月にみがきて

令和6年11月25日
千曲市立更級小学校

<文責>
松澤 幸嗣

「令和6年度 音楽会 大成功!!」 11月15日(金)



11月15日（金）には、校内音楽会を開催することができました。

音楽会の2週間ほど前からステージ練習を毎日行い、本番の発表に向け各クラスで練習に励んできました。当日は、練習で得た自信と力をすべて出し切り、一人一人が心を込めて歌ったり演奏したりすることができた、素晴らしい音楽会になりました。

保護者の皆様にも参観していただき、子どもたちの発表に温かい拍手をたくさんいただきました。どうもありがとうございました。

なかよし旬間 11月18日～12月13日

【11月18日(月) 全校集会の校長講話より】

(前略)さて、いろいろな行事が終わった今日から、学校ではなかよし旬間が始まります。まず、この旬間の3つのねらいを確認します。

①身のまわりの人権問題に気づき、相手の立場に立って考え方解决问题とする気持ちを育てる。

②自分の存在を大切にでき、自己表現ができる態度を育てる。（自己肯定感を高める）

③相手の気持ちや立場を理解し、友だちを大切にし合う（共に生きる）人間関係づくり。

難しい言葉ですが、今年の3つの合言葉にわかりやすく置き換えると、②について「まなびあい」を続け、③について「わかりあい」「ありがとう」をいつも言い合えるクラスになれば、その結果として①にあるような「身のまわりの人権問題」に気付くことができるという意味です。

では、身のまわりにある人権問題って何でしょうね。それを考えるきっかけになるお話を今日はしたいと思います。はじめに、みなさんにはいくつかの質問にフォームで答えてもらいます。（全員タブレット持参で）担任の先生から聞いたやり方で、各クラスのClassroomやロイロノートからアンケートページを開いて準備してください。ただし、質問には校長先生が話した後に回答してください。

最初に自分の学年を選び、「次へ」のボタンを押してください。ここから質問に入る所以で、まずは説明を聞いてください。勝手に回答しないで、校長先生が「どうぞ」と言ってから回答してくださいね。これから校長先生が3つ質問するの

で、その質問について「あってもいい違い」か、「あってはいけない違い」かを選んでください。考えたけどどうしても決められない人は、「わからない」を選んでもいいですよ。あまり時間をかけず、直感で答えてください。

では第1問。「A小学校の玄関には車イスも通れるスロープがあるけど、B小学校の玄関にはスロープがない」

続いて第2問。「みんなが毎日使っているランドセルの色は、男の子は黒っぽい色、女の子は赤やピンクっぽい色が多い」

最後に第3問。「Aさんは人前で話すのが苦手だけど、Bさんは人前で話すことが得意である」

質問はこれで終わりです。答えを決めた人から回答を送信して、タブレットを閉じてください。さて3つの質問は、どれが正解だということはありませんが、みんながどんな回答をしたのかは気になりますね。結果を見てみましょう。（回答の結果により、およその傾向を伝えた後）校長先生が感心したのは、学校中のみんなの回答がすべて同じにならなかったことです。世の中にはいろんな考え方があるということを、今日はみなさんと一番確認したかったのです。

でも世の中には、絶対人と違ってはいけないこともあります。例えば、「友達に優しくするとか、友達のことを褒めたり認めたりする」ということは、全員にやってほしいけど、「誰かを傷つけたり悪口を言ったりする」ということは、全員がやってほしくないです。

しかし、今日の質問のように、人によって考え方方が違うことは、実はこの世の中にたくさんあります。更級小学校では玄関に当たり前のようにあるスロープも、お金がなくてまだ作られていない学校はあります。またランドセルの色は、まだまだ圧倒的に黒と赤が多いし、人によって得意不得意が違うのは当たり前でも、「みんなが苦手をなくさないといけない」と思う人はいます。

では、自分と考え方が違っていた時、みなさんはどうすればいいと思いますか。校長先生は、「いろいろな人の立場に立って考えること」が大事だと思います。「私はいいと思うけど、よくないと思う人もいるのかな？」とか、「ぼくはこうしたいけど、違う考えの人もいるのかな？」など、相手の立場に立って考えてみると、いろいろな考え方に対することができるので、お互いが納得したやり方や答えを見つけやすくなります。

この世の中にいる人は、全て見た目や考え方方が違うし、違っているのは当たり前です。だからこそ、違っていることを「おかしい」と思うのではなく、違っていることを認め合い、相手の考えを受け入れる心の広さを持ってほしいと思います。

「自分と違うのは悪いこと」ではなく、「自分と違うのはいいこと、素敵のこと」だと考え、今日から始まるなかよし旬間で、たくさんのこと勉強してくださいね。そうすれば、「身のまわりの人権問題に気づき、相手の立場に立って考え方解决问题とする気持ちを育てる」という、旬間のねらいが達成できることにつながりますよ。これでお話を終わります。

第30回「縄文まつり」 10月27日

さる10月27日(日)に、さらしなの里で「第30回 縄文まつり」が開催されました。本校の児童も全員参加し、「火起こし」「豊穣儀礼」などの儀式を行いました。また、「縄文芸能村」では、縄文時代の生活等の様子について、1~3年生は各クラスで学習したことを発表してくれました。最後は4・5年生のリコーダーと縄文太鼓の演奏をバックに、会場全員で縄文の歌を歌って祭りは終わりました。6年生は、今回運営スタッフとしても活躍してくれました。

毎年、更級地域にお住まいの方々と一緒に祭りに参加することで、「自分も地域の一員である」という自覚を強く持てるのではないかと思います。来年度も「縄文まつり」が開催され、更級の伝統的行事が継承されていくこと願っています。

